

カノン

愛媛交響楽団 機関紙 第25号

発行 2001年6月15日(今世紀初)
編集委員 石橋壯一、上田美織、小池亜希子
木下みほ、道下紀子、森万記、西山誠

深山先生に1問1答

インタビュアー 木下 みほ

5月27日の指揮者トレーニングの日に、休憩中の深山先生にインタビューさせていただきました。お疲れのところでしたのに、フルートチームの質問に気持ちよく答えていただきました。

— 先生の音楽歴を教えてください。

ヴァイオリンは4歳から始めました。小学3年生の時に銀座のヤマハホールの音楽会で堀米ゆず子さんや加藤とも子さんが、頭に大きなリボンをつけて、ふりふりのドレスを着て、チゴイネルワイゼンやコンチェルトをバンバン演奏するのを見て、僕もあんなに上手になれたらいいなあと思ったのがきっかけになりました。

しかし、一時ヴァイオリンを離れた時期もあってね。中1から高1まではラグビーをやりました。オール神奈川に選ばれたくらいだから、ヴァイオリンより才能を発揮していましたね。

そんなことだから、たいした受験勉強もしていませんでした。「他はお金が高いから、芸大しか行かせません」と言う母の意見に従って芸大を受験したところ、一発で合格。しかも、実技は1位で入学しちゃったんです。あの頃が一番腕が良かったんでしょうね。

大学院1年生の時から6年間は東京フィルでコンサートマスターを。他には新星日響・神奈川フィル・東京交響楽団などで活動していました。現在はフリーになり、スタジオや

室内楽を楽しんでいます。

— 松山の印象はどうか？

実は、松山には毎年来ているんですよ。トヨタのショールームで室内楽の小さな演奏会をしています。だからこの町には随分と慣れましたよ。食べ物は美味しいし、人柄はのんびりしているし、得に女性が美しいですね！

— 奥様はC1奏者と伺っていますが？

子供が昨年9月に生まれたばかりなので、その世話におわれて、ほとんど練習が出来ないみたいです。1ヵ月に1回くらいは吹いているのかな。今年の3月に、お台場にある新築のマンションに引っ越しをしたので、いつでも遊びに来てください。窓の外が浜辺になっていて、眺めが最高ですよ。(礼拝堂顔)

— 先生の練習はどこでなさっていますか？

マンションの1部屋をアトリエとして使っていますから、そこで練習をしています。8畳程の部屋ですが、楽譜やCD、オーディオ類が山ほど積まれています。練習をしていると、私のヴァイオリンに合わせて、子供が踊っているんですよ。(とても礼拝堂顔)

練習量は、心配なところがあると、本番が怖いので、朝から籠もりきりで練習したりする時もありますね。

— お子さんを将来音楽家にされますか？

大変にお金がかかるので、音楽家は私一人で十分ですよ。ウン千万円もする銘器「グッルネリ」を購入してしまったので、今は借金生活なものですから。老後はこのグッルネリ

を売ってノンビリと生活する予定です。

— 愛響を指揮されてみて、如何ですか？

今回の田園は愛響の雰囲気合っていると思います。ただ、ダイナミックスには欠けていると思います。もっともっと気持ちを持っていけば、十分な演奏が出来るはずだと信じています。

田園は標題音楽ということで、各楽章にいろいろと題が付けられています。その言葉だけに捕らわれずに、音譜をひとつひとつ丁寧に読んでみた感情を、素直に表現できればいいですね。

指揮法の勉強は、芸大時代に集中講義でやったぐらいです。指揮を見る側のプロとして活動していましたが、指揮するのはビクビク・ドキドキです。皆がズレたら私の指揮が悪かったのかなと、反省しちゃうんですよ。見にくかったり、分かりにくいところがあったら、愛響の皆さん、ごめんなさい。

以上、とても気さくに答えていただきました。練習の間の貴重な時間を割いていただきまして、本当に有り難うございました。

新入団員・再入団員

今回入団・再入団した方々を紹介します。なお、降り番の富士原さんHrと越智さんTpは次回のカノンで紹介。また、今回は手配写真を割愛しますので悪しからず。

お聞きした内容は次の通りです。

- ① 経験年数及び「前歴」など
- ② 出身地
- ③ 誕生日、星座、血液型
- ④ 好きな作曲家（作品）をどうぞ
- ⑤ 愛響に入って一言。愛響への苦言・提言でも結構です。

大城 辰雄さん Vn. 再入団

- ① 九大フィル→愛響→九大OBフィル→愛響
- ② 松山
- ③ 1964年5月1日 O型
- ④ ベートーヴェン、モーツァルト
- ⑤ 男性Vn. player もっと頑張りましょう。

三宅 利往さん Va. 新入団

- ① 楽器を弾き始めてからは14年目になります。実質はその半分位ですが。
- ② 大阪
- ③ 1963年10月1日 天秤座 A型
- ④ ロシアの作曲家（ラフマニノフ等）が好きです。それ以外の曲では、エルガーの交響曲第1番とかブラームスの交響曲第4番など。
- ⑤ はじめまして。愛響の皆さんに温かく迎え入れていただいたと思っています。どうぞよろしくお願ひします。

中居 文恵さん Vc. 新入団員

- ① 愛媛大学交響楽団で5年（チェロは今年で6年目）
- ② 明浜町
- ③ 1977年12月28日 山羊座 O型
- ④ ブラームスのシンフォニー、ヴィヴァルディーのチェロソナタ、シューベルトの弦楽五重奏。
- ⑤ 大学の時にお世話になった先輩方のいる愛響で、また一緒にチェロを弾くことができていると嬉しいです。

西山 敬子さん Vc. 新入団員

- ① 記入なし
- ② 松山
- ③ 11月26日 射手座 A型

- ④ 聴くだけならチャイコフスキーなど。
- ⑤ オーケストラの中で演奏する楽しさは一度味わうと忘れられません。もっと楽しめるように頑張ります。

池田 努さん Fg. 新入団員

- ① 経験9年
- ② 松山市
- ③ 1977年11月22日 さそり座 A型
- ④ モーツァルトの交響曲プラハ、ラフマニノフの交響曲第2番など
- ⑤ 入ってまだ間がないのですが、色々と音楽について勉強していきたいと思っています。一生懸命頑張りたいと思います。皆さんよろしく願います。

向井 香菜子さん Tb 再入団員

- ① 記入なし
- ② 宇和島市
- ③ 1967年1月25日 みずがめ座 O型
- ④ プラームス「弦楽六重奏」、バッハの無伴奏チェロソナタ、ラフマニノフの交響曲第2番など
- ⑤ 5年のブランクを経て、連絡方法も携帯電話じゃ、インターネットじゃと、いつのまにか時代に取り残されていた。でも、音楽をやる姿勢だけは変わっていなかった(ホッ)。これから頑張るゾ。

酒匂 多恵子さん Prc 新入団員

- ① 今年で10年目になります。
- ② 中山町
- ③ 1976年8月17日 獅子座 O型
- 酒匂信次氏夫人 新婚1ヵ月
- ⑤ 中・高・大学では吹奏学部に所属していました。オーケストラの経験は初めてなので、よい勉強になります。よろしく願います。

音楽へのアプローチ

「オジサンたちの仁義なき戦い、そして、
楽器をいぢるだけが能ぢないゾの巻」

フルート 西山 誠

最近、私は是非にと請われて、アカペラ・コーラスの指導をしています。相手は40歳を過ぎようとする5人のオッサンたちです。3年近く前にこの話を持ってこられた時、私は断ろうと思っていました。コーラスの指導をした経験はないし、相手はド素人の集団なのです。私は生来の優しさから、彼らの浅はかな思いを断ち切ってやろうと思いました。ドミナントの第3音はかなり低く取らなければ純正調の響きは得られないし、旋律は平均律で歌わなければ音楽にならない、などと脅しをかけたのですが、彼らの決心をひるがえさせるに至らず、泣く泣く指導を引き受けてしまったのです。(イマニミテオレ)

そんなこんなの間、彼らとカラオケに行きました。そこで彼らが即興で対旋律をつけて歌っているのを聞いてタマゲました。的確にハーモニーをつけているのです。でも、私はこんなことでは負けん。伴奏がついたカラオケで、少々ハーモニーをつけることが出来るからというてナンボのもんじゃい!!アカペラがいかに難しいかを思い知らせちゃる!!

最初に示した練習曲は、イギリスマドリガルの巨匠ジョン・ファーナー作曲「きれいなフィリスが」でした。ルネサンス後期の作品ですから、すべてのパートが旋律線です。カノンやフーガの要素も含んでいます。幸いにも、ハーモニックな部分や、変拍子までそろっています。美しいけれど、とても難しい曲です。最初にガンとくらわして、諦めてもらうには最適な曲です。(ムッフッフッ)

ところが、まず困ったのは私の方でした。

持っている楽譜が混声合唱用だったので、男声4部に編曲するのに苦労することになったのです。愛響の方は分かると思いますが、混声は展開したコードだし、男声合唱では密集コードのほうが美しく響きます。N先生に相談したときも、男声で展開した和音を使うときは気を付けるようにとアドバイスを戴きました。

そこで思いついたのが、混声合唱のアルトとテノールを入れ替えることでした。これで3オクターブ以上にもなる音域を2オクターブ半程度に抑えることができるし、コードも展開から密集に変換できます。

なんとか編曲した私は、この譜面を伝家の宝刀として、レッスンを始めました。300年前の曲です。ルネサンス時代の曲です。ビートルズとはわけが違います。アカペラなので伴奏に頼ることはできません。彼らの考えとは違ったのでしょう。思うようには上達しません。「思うつぼだ!! ヤッタ!!」。ところが、彼らはこの1曲を歌うために1年3ヵ月も頑張りました。しかも立派に歌えるようになってしまったのです。(ムム無念!)

それからはアツという間でした。瞬く間に10数曲のレパートリーを作り上げてしまいました。最近になってアカペラが流行ってきているようだけど、こうなったらゴスペラーズの後を継ぐのは、このThe Orgiesなのだ。

この変なオイサンたち(私は別!!)はオルギーズと申します。メンバーは、「ギャーギャーゆうな」でお馴染みの、某オーケストラ理事長の末の息子さんと、F整形外科の院長先生、愛大の産婦人科の二人の先生方、それにJ病院の先生、合計5人です。

内緒の話のひとつ。彼らの希望で、山下達郎の「ホワイト・クリスマス」やドゥリームズ・カム・トゥルーの「ラブ・ラブ・ラブ」などを編曲しました。いいえ編曲ではありま

せん。パクリです。そのままのコピーです。男声5重唱にまとめるには苦労しましたが、コピーはコピーです。公の場所での演奏はできません。我ながらいい出来だと思っているので残念でありませんが、著作権協会にバレると、とんでもないペナルティーがかかってくるので、皆さんくれぐれも内緒にしてくださいね。

慣れないコーラスの指導や編曲など、いろいろと苦労はありますが、音楽への別なアプローチのしかたを教えてくれた、オルギーズの皆さんに心からの感謝をしています。

ところで、7月1日(日)にオルギーズが発表会を開きます。興味のある方はフルートの西山誠まで、お問い合わせください。

編集後記

2001年5月27日のことでした。「今世紀最初のカノンはフルートが担当だったよな?」と言われ、編集担当だったことをすっかり忘れていた私たちは顔色を失いました。それからは、フルートのメンバー同志で尻を叩いたり、叩かれたりしながら、タイムリミットぎりぎり、やっと発行にこぎつけることが出来ました。

お忙しいのにも係わらず、深山先生をはじめ、突然のインタビューに快く応じて下さった皆様、本当にありがとうございます。

次号「カノン」の担当はオーボエパートです。よろしく。(引き継ぎができてよかった。ホッ)

(フルートパート一同)